

EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

日本とオーストリア の研究者が、授業を みる視点を交流しあ うフォーラムを開催 しました。

活動日時 2018年9月28日(金)13:00-16:00



活動従事者 草原和博, 川口広美



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、2018年9月28日(金)に研究拠点創成フォーラム(8)「私たちはどのような視点で授業をみるかー日本の教科教育学とオーストリアの各科教授学ー」を開催しました。オーストリアからウィーン大学のAlois Ecker先生とグラーツ大学のBettina Paireder先生をお招きし、日本の研究者である草原和博先生、川口広美先生と意見交流をするシンポジウムを開催しました。

はじめに草原先生が事前に観察した2つの授業の概要を説明し、その後オーストラリア側・日本側それぞれから分析の視点と結果を説明しあいました。

オーストリア側は、授業を「教師と学習者の社会システム」として捉え、理論ベースで授業の実態を分析していることに特徴があり

ました。トピック-学習者-教師の視点から、その間に成り立つコミュニケーションに注目し、学習者の相互作用や学習過程のダイナミクスを社会学や社会心理学の概念を活用しつつ実証的に明らかにしようとしていました。

一方、日本側は、授業を「実践者の信念が表象されたもの」として捉え、実践ベースで改善策を追究しているところに特徴がありました。目標-内容-方法の視点から、教師の指示や問い、子どもの活動・発言など注目し、目標達成のために教師がとるべき方法や目標設定の代替案を、規範性をいとわず提言しようとしていました。

討論を通して、オーストリアの各科教授学、日本の教科教育学の特性が浮かび上がってきました。今後は日本とオーストリアそれぞれの地で、隔年で継続的にシンポジウム開催することとなりました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

<http://evri.hiroshima-u.ac.jp/>

EVRI HP/Facebook

